朋鳥

同窓会報 2026

岩手県立盛岡第三高等学校同窓会事務局
〒020-0114 岩手県盛岡市高松四丁目17－16
TEL 019-661-1735　FAX 019-661-1221

●発行　令和８年９月30日







【学校ホームページお知らせ】

生徒の活動等詳しくはHPをご覧下さい。
http://www2.iwate-ed.jp/mo3-h/

「note」で日々の三高の様子を発信しています。QRコードまたは公式Webサイト上のリンクからぜひご覧ください。

同窓会総会・懇親会のご案内

令和８年 **11月14日(土)**

ホテルメトロポリタン盛岡ＮＷ（ニューウィング）

総　会　17：00　　懇親会　18：00
会　費　5,000円（学生2,000円）

（参加の申込は本校ＨＰよりお願いします。会費については同窓会より一部補助が出ております。）



AI時代と同窓会

同窓会長
藤原誠司
(13回生)

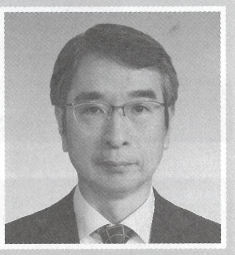
同窓生の皆様、お元気でお過ごしのことと存じます。まずはご挨拶です。

「会員の皆様には日頃より盛岡三高同窓会の活動に温かいご理解とご支援を賜り、心より御礼申し上げます。母校は長い歴史の中で多くの優れた人材を社会へ送り出してまいりました。その礎を築いてこられた諸先輩方に深く敬意を表するとともに、同窓生の皆様との絆を大切にしながら、これからも世代を超えた交流を一層深めてまいりたいと考えております。同窓会は、母校の発展を支えるとともに、卒業生同士が互いに励まし合い、新たな出会いと交流を育む大切な場です。今後も皆様のお力添えをいただきながら、魅力ある同窓会づくりに努めてまいります」……。

実はこの挨拶はスマホのChatGPTに「盛岡三高同窓会長の挨拶原稿」と入れただけで勝手に作られたものです。AI技術はどんどん進歩して、少し前に72歳のミュージシャン松任谷由実さんは自分の若い頃の声を再現して新曲を作り、大きな話題になりました。しかしその一方で悪用もされて多くの人が犯罪に巻き込まれています。何が真実で何が嘘かを見抜く力が重要になり、新しい技術との付き合い方が問われる時代になっています。

先日、部屋を片付けていたら「盛岡三高関連」と書いた古い紙袋を見つけました。50年前の資料がいろいろ入っていてその中にガリ版印刷された分厚い名簿がありました。当時の１年生から３年生まで1000人以上、全員の名前と住所、電話番号、保護者の名前と職業までが細かく書かれています。今ならすぐに問題になりそうですが、当時はパソコンも携帯もない時代なので必要でしたし、それを悪用する手段も限られていたので大きな事件に発展するケースも少なかったのでしょう。その頃はどんな大家族でも電話機は１台。かかってきた電話は家族中に注目されており、詐欺の電話もハードルが高かったと思います。この50年の間にさまざまな進歩によって生活は便利になりましたが、並行して個人中心の世界に変わってきました。核家族化、少子高齢化も進んで隣近所との付き合いも少なくなり町内会や子供会も存続が難しい状況にあるようです。しかし、どんなに個人の生活が大切といっても熊本の地震やさまざまな災害が起きた時の状況を見てもわかる通り、人は助け合い、支え合わなければ生きていけません。出社しなくてもスマホひとつで仕事ができる世の中ですが、やはり人と人は直接会うことが大切だと思います。同窓生はAIの挨拶にありましたように世代は違っても同じ高校出身という一点でつながっています。11月14日㈯に総会と懇親会が開催されます。これまで参加されたことがない方もこれを機会にぜひ足を運んでいただき、新たな「三高の絆」を作っていただければ幸いです。

図南のゆめに翔る



校長
菅野 幸貴

同窓会員の皆様には、日頃より本校の教育活動に多大なるご支援ご協力を賜り、心から感謝申し上げます。昨年度は11月に鵬同窓会、２月に鵬同窓会関東支部の総会・懇親会にご招待いただき、同窓会員の皆様と交流を深められたことを非常に嬉しく思うと同時に、皆様のパワーと母校に寄せる思いの強さをひしひしと実感いたしました。

さて、本年度も生徒たちは、学習や部活動、生徒会活動や特別活動等、多方面にわたって活躍しております。学習面においては、多様な科目を選択できる「進学型単位制」に移行して２年目となり、本格実施の年となりました。併せて、ＯＲＰ（おおとりリサーチプロジェクト）と銘打った探究的な学びの充実も図っています。１・２年次生は、自己の興味関心をもとにしたテーマを探究するために、夏季休業中にフィールドワークに出かけました。

特別活動においても持てる力を存分に発揮してくれています。近畿インターハイには、創部以来男子として初の県大会優勝を遂げた弓道部男子団体の他、ソフトテニス部男女個人、なぎなた女子個人・演技競技が出場しました。秋田県で開催された全国高総文祭には、吹奏楽部、文芸短歌部門、理数探究コース物理班が参加しました。視聴覚委員会はＮＨＫ杯全国高校放送コンテストに出場しております。東北大会まで広げると、陸上競技部、新体操部、水泳部、剣道部、ローイング部、空手道部、音楽部が出場を果たしました。その他、太極拳や柔剣道で全国大会に出場する生徒もおり、様々な能力を持った生徒たちが、多岐にわたる分野で優れた成果をあげています。

夏の高校野球岩手県大会では、１回戦で昨年秋季県大会３位の盛岡中央高校と対戦しましたが、隙のない試合運びで鮮やかな勝利を収めました。２回戦では第２シードの盛岡大学附属高校に敗れたものの、息詰まる好試合を展開しました。一戦必勝ということで、１回戦から全校応援体制を組みましたが、応援団リーダー、吹奏楽、全校生徒が一体となった応援に深い感動を覚えました。外部の方からも野球部の健闘と応援の素晴らしさを称える声が寄せられております。８月上旬に行われた学校説明会には、1,000人を超える中学生に参加してもらい、本校の魅力を伝えることができました。８月下旬の三高祭でも、1,300人を超える来場者に、三高生の諸活動や生き生きとした姿を見ていただき、大盛況のうちに終えることができました。

以上、三高の現在の状況の一端をお知らせしましたが、日々の活動については、ネットサイト「note」で配信しています。本校のホームページから、あるいは「ノート　盛岡三高」と検索していただくと、すぐにアクセスできますので、是非ご覧になってください。

今後とも同窓会員の皆様のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

同窓生だより

～勇往邁進～

南舘 日奈太（58回生）

はじめに 弘前の地から、母校への感謝を込めて

盛岡第三高校を巣立ち、早いもので三年の月日が流れました。現在は弘前大学教育学部で学びながら、四年生となり卒業論文や教育実習に追われる日々です。一歩外に出れば岩木山が美しくそびえる弘前の街で、教育のあり方を学びながら、自身のライフワークでもあるなぎなたを続けています。周囲の人々にも恵まれ、充実した大学生活を送っています。

高校時代、尊敬できる先生方や切磋琢磨し合える同級生と過ごした濃密な時間は、今の私の確かな土台です。大学では“小学校教員を目指す”と共に“なぎなたの競技者”としての自分と向き合う中で価値観は大きく、深く変化してきました。同窓会誌への寄稿という貴重な機会をいただき、これまでの歩みで得た葛藤と気づき、未来への決意を書き留めたいと思います。

なぎなたの魅力

皆さんの中には、薙刀と聞いても何？という方も少なくないかと思います。古くは平泉にも縁のある源義経の家来の武蔵坊弁慶が持っていた武器と言えば少しイメージしていただけるでしょうか？　なぎなたを始めたきっかけは弁慶が持っていた薙刀が、子どもながらにとても魅力的に感じたことでした。練習環境や仲間にも恵まれ、部活動はありませんでしたが、全国高校選抜大会で二連覇することが出来ました。進学後も青森の方々と稽古を重ね、全日本選手権での３位やコロラドでの世界大会へ出場することができました。これほどまでに没頭できたのは、なぎなたの持つ自由な要素が大きかったと思います。なぎなたは右にも左にも構えられ、頭から足まで打突することができます。自分で考えた色々な作戦を試して一本取れたときはとても嬉しかったことを憶えています。成長と共に武道としての理合など、また違った楽しさも感じ、小学校から現在まで懲りずに続けてきました。

しかし、全てが順風満帆だったわけでもありません。特に昨年はトップの選手に追いつくべく、更なる成長を求める想いが空回り、結果も振るわず、焦りからの取り組みはどれも中途半端に終わる悪循環に陥りました。そんな迷走の中で辿り着いたのが、「できない自分を受け入れる」ことでした。立ち止まり冷静になり再起する。これは焦っていた時には無かった、自分の内面と向き合うことで得られた視点でした。困難にあった時に、選択したことが「正解」とは限らない事もあると思います。しかし、結果がどうであっても、その時々で必死に選択した自分を認めつつ、再び現状と向き合い少しずつでも歩みを進めていこうと考えられるようになりました。

教壇の前に立ち、見えてきた他者との「協働と責任」

なぎなたともう一つ目標としてきたのが、子どもたちの未来に関わる教員になることです。小学校の教壇を目指して学びを深める中で、教育実習などの実践の場は多くの揺らぎと深い内省の機会を与えてくれました。なかでも衝撃的だったのは、「教師の視点」に立つことで教室の景色が180度変わったことです。「働きかける側」になって初めて、発達段階にある子どもたちの視点に立つ難しさを身をもって知りました。他者の視点に立ち心の動きを察するには、豊かな想像力と忍耐が必要なのだと、改めて自らの視野の狭さを痛感させられました。

もともと自己主張は控えめで他者への介入に慎重だった私にとって、教育現場における「働きかける優しさ」の必要性を理解し、実践することは大きな課題でした。実習中、作文を書く授業で机間巡視をし、筆が止まっている児童に声をかけようとした際のことです。「本当にこのタイミングでの声掛けは思考を妨げないだろうか」「どのような言葉選びが適しているだろうか」と考え込んでしまいました。指導案の「必要であれば適宜活動を支援する」という一文を現場で実践する難しさを痛感した瞬間でした。子どもたちの個性を知れば知るほど最適なアプローチに悩み、結果として最も効果的な声掛けを躊躇しては深く反省することとなりました。この経験を通し、本当の優しさの意味を考えました。自分の躊躇や消極性を差し引いてでも、相手のために勇気を持って一歩踏み出し積極的に働きかけること。それこそが教育における真の「優しさ」であり、責任なのだと気づかされました。自分の殻を破り、言葉をかけ手を差し伸べる重みを強く胸に刻んでいます。さらに、多様な人が集まる空間を共に創るには、コミュニケーションの本質を捉え直す必要がありました。一方的な指導ではなく、まずは自分という人間を知ってもらう努力をし、他者と手を取り合って「協働」していくこと。自らの弱さや不完全さを認め、誠実に対話する姿勢があって初めて成り立つものでした。自分を大きく見せたい気持ちは誰しも持っていると思います。しかし信頼関係を築くうえでは、虚飾を捨てありのままの自分を見せることが重要だと学びました。この姿勢をこれからも強く意識していきたいと思っています。

教育現場で求められる「自分の行動に対する責任」と、失敗時に「なぜそうなったのか」を突き詰める「自己内省」のプロセスは、なぎなたでの自分と対峙することと共通していました。道場で打突の僅かなブレを内省するように、教壇での言葉や視線一つひとつがどう届いたかを内省する。なぎなたと教育は、「人としての誠実さと責任を問う」という点において、一本の太い線でつながったと感じています。

母校の記憶と、他者に頼ることの「強さ」

大学生活を過ごす中で、高校生活を振り返ると、どれほど素晴らしい人に恵まれていたかという深い感謝が湧いてきます。三高には夢に向かって突き進む尊敬できる仲間がたくさんいました。友人や導いてくださった先生方との出会いがあったからこそ、大学でも自分を見失わずに歩み続けられたと感じています。しかし、当時の自分を顧みて反省している点もあります。高校生の自分にアドバイスを送れるなら、こう伝えたいです。「もっと他人に頼れ」と。当時の私は「すべて自分の力でやり遂げることが自立であり、人に頼ることや弱みを見せることは甘えで恥ずかしい」と思い込み、助けを求めることを恐れていました。本当に強い人間とは、限界を素直に認め、他者の力を借りて共に高みを目指せる人だと大学生活を通して理解しました。頼ることは恥ではなく、弱さを見せられること自体が一つの大きな「強さ」なのだと学びました。もっと周囲に心を開き頼ることができていれば違った深い繋がりや学びを得られたかもしれません。その少しの後悔は、現在の歩みを正してくれる大切な教訓となっています。

おわりに これからも「真似び」、成長し続けるために

最後となりますが、来年の四月から故郷である岩手県の小学校教員として働かせていただくことが決まりました。これからも多くの壁にぶつかり、失敗を経験すると思います。未熟な自分にとって、教育現場もなぎなたの探求も一筋縄ではいかない挑戦ばかりです。出会った人々への感謝と謙虚な姿勢を忘れずに、周りの方々の声に耳を傾けていきたいと思います。そして先人や他者の良さを素直に「真似び」ながら、「失敗は次の成功への足がかりである」ことも覚え、自分自身を絶えず進化させ続けられるよう、目標に向かって歩みを進めていきたいと思います。

2026 部活動報告





【運動部】

陸上競技部

●第78回岩手県高等学校総合体育大会 陸上競技

▼男子
- 400m　第４位　栗林英士②
- 800m　第２位　栗林英士②
- 砲丸投　第５位　梅田礼司③
- 円盤投　第４位　梅田礼司③

▼女子
- 400m　第２位　滝本茉心③
- 　第４位　出口穂佳②
- 800m　第２位　滝本茉心③
- 　第５位　川崎芽生②
- 　第６位　佐々木絢葉②
- 1500m　第４位　小川佳鈴③
- 　第５位　藤沼あゆむ③
- 3000m　第５位　一戸彩花①
- 　第６位　藤沼あゆむ③
- 100mハードル　第６位　赤石珠々花②
- 400mHハードル　第３位　赤石珠々花②
- 5000m競歩　第１位　吉田一花③
- 　第２位　伊豆倉枝呼③
- ４×400mリレー　第１位　出口穂佳②→小川佳鈴③→滝本茉心③→川崎芽生②
- 走高跳　第６位　中野詩①
- 　第６位　白石あかり①
- 砲丸投　第４位　上路華鈴③
- 円盤投　第３位　上路華鈴③

６位以上が東北大会出場

【総合の部】
- １部女子トラック　第２位
- １部女子総合　第２位（初）

●第81回東北高等学校陸上競技選手権大会

▼女子
- 800m　第８位　滝本茉心③
- 5000m競歩　第６位　吉田一花③

新体操部

●第78回岩手県高等学校総合体育大会 新体操

団体　第２位
渡邊③、柴田③、杉田①、眞下①、渡辺①、菅原①　東北大会出場

個人　総合　渡邊心愛③　第２位　東北大会出場
- フープ　渡邊心愛③　第２位
- ボール　渡邊心愛③　第２位

●第55回東北高等学校新体操選手権大会

団体　第７位
渡邊③、柴田③、杉田①、眞下①、渡辺①、菅原①

個人　総合16位　渡邊心愛③
フープ17位・ボール13位

水泳部

●第78回岩手県高等学校総合体育大会 水泳競技

▼男子
50m自由形
第６位　岩渕淳輝①

▼女子
400m自由形
第８位　佐藤史織②
200m個人メドレー
第７位　佐藤花星②
400m個人メドレー
第６位　佐藤花星②
400mリレー
第７位　昆来瞳②、久保伶奈①、佐藤史織②、佐藤花星②
800mリレー
第７位　佐藤史織②、久保伶奈①、昆来瞳②、佐藤花星②
400mメドレーリレー
第７位　久保伶奈①、佐藤史織②、昆来瞳②、佐藤花星②

８位以上が東北大会出場

バスケットボール部

●第78回岩手県高等学校総合体育大会 バスケットボール競技

▼男子
- 盛岡第三　93－79　一関修紅
- 盛岡第三　73－100　花巻東　ベスト16

▼女子
- 盛岡第三　117－51　福岡
- 盛岡第三　72－60　黒沢尻北
- 盛岡第三　32－61　一関学院　ベスト８

バレーボール部

●第78回岩手県高等学校総合体育大会 バレーボール競技

▼男子
- １回戦　盛岡第三　２－０　久慈翔北
- ２回戦　盛岡第三　０－２　花巻東

▼女子
- １回戦　盛岡第三　２－０　軽米
- ２回戦　盛岡第三　２－０　花巻北
- ３回戦　盛岡第三　０－２　一関修紅

結果　ベスト８
優秀選手賞　藤村　清徠

卓球部

●第78回岩手県高等学校総合体育大会 卓球競技

▼男子
学校対抗
- 盛岡第三　３－０　高田
- 盛岡第三　０－３　専大北上　２回戦

個人戦ダブルス
齋藤楓真②・長嶺孝明②組　２回戦

個人戦シングルス
- 齋藤楓真②　２回戦
- 長嶺孝明②　１回戦

▼女子
学校対抗
- 盛岡第三　３－０　釜石
- 盛岡第三　０－３　専大北上

ベスト16

個人戦シングルス
下瀬明葉②　２回戦

ソフトテニス部

●第78回岩手県高等学校総合体育大会 ソフトテニス競技

▼男子
個人戦
- ２回戦　堀口凌也①・山村琉偉②
- ５位　伊藤　心③・生平瑛人②

インターハイ出場権獲得

団体戦
- ２回戦　盛岡第三　③－０　花巻北
- ３回戦　盛岡第三　②－０　高田
- ４回戦　盛岡第三　１－②　黒沢尻工業

ベスト８

▼女子
個人戦
- １回戦　稲葉京花③・佐々木聡恵②
- １回戦　五代儀光葉②・砂口もも香②
- ２回戦　田島清風③・都鳥愛心③
- ２回戦　藤岡美羽②・二川原美玖②
- ３回戦　田頭凛華③・平林蒼生②

ベスト32

- ３回戦　下川紗奈②・八幡結乃③

ベスト32

- ２位　本間優衣②・谷地茜音②

インターハイ出場

団体戦
- ２回戦　盛岡第三　③－０　遠野
- ３回戦　盛岡第三　②－０　北上翔南・江南義塾盛岡
- ４回戦　盛岡第三　②－０　盛岡誠桜
- 準決勝　盛岡第三　０－②　盛岡商業

ベスト４

●第69回東北高等学校ソフトテニス選手権大会

▼男子　２回戦　伊藤心③・生平瑛人②　ベスト32
▼女子　１回戦　本間優衣②・谷地茜音②

サッカー部

●第78回岩手県高等学校総合体育大会 サッカー競技

２回戦　盛岡三　０－９　盛大附属

ラグビー部

●第78回岩手県高等学校総合体育大会 ラグビーフットボール競技

１回戦
盛岡三・盛岡北・岩手、・一関工業合同　０－103　宮古・宮古商工合同

５位・７位決定戦
盛岡三・盛岡北・岩手・一関工業合同　７－21　釜石・釜石商工・大船渡東合同

ハンドボール部

●第78回岩手県高等学校総合体育大会 ハンドボール競技

▼男子
- １回戦　盛岡三　36－22　盛岡一
- 準々決勝　盛岡三　16－41　南昌みらい

特別敢闘賞　関村　昊翔③

▼女子
- ２回戦　盛岡三　43－８　盛岡誠桜
- 準決勝　盛岡三　18－21　花巻北
- 第３位　優秀選手賞　清水　理央③

バドミントン部

●第78回岩手県高等学校総合体育大会 バドミントン競技

▼男子

団体戦

２回戦　盛岡三　２－３　釜石商工

個人戦ダブルス

１回戦　利部遙磨③・阿部平宗②　１－２　千厩

個人戦シングルス

１回戦　利部遙磨③　０－２　前沢

▼女子

団体戦

２回戦　盛岡三　２－３　一関高専

剣道部

●第78回岩手県高等学校総合体育大会 剣道競技

▼男子

個人　第５位　山本涼①　東北大会出場

ベスト16　髙橋脩真③

団体　第３位

髙橋宏河③、髙橋佑③、髙橋脩真③、盛合湊①、岩舘感太郎①、昆幸大②、森春輔②　東北大会出場

●第72回東北高等学校剣道選手権大会

▼男子

個人　初戦敗退

山本涼①

×０－２○　斉藤（秋田・秋田南）

団体　予選リーグ敗退

盛岡第三

×０－５○　秋田商業（秋田）

盛岡第三

×０－３○　五所川原第一（青森）

弓道部

●第68回岩手県弓道選手権大会

▼男子　第５位　内澤篤仁③

▼女子　第１位　佐藤衣織美②

射道優秀賞受賞

●第78回岩手県高等学校総合体育大会 弓道競技

▼男子

団体　優勝（初）

麓空真②、大坊遙空③、赤坂柊馬③、三浦義孝③、川口夏輝③、秋田悠吉③、内澤篤仁③

東北選手権大会およびインターハイ出場権獲得

個人　第３位　三浦義孝③

東北選手権大会出場権獲得

▼女子

団体　準決勝進出（ベスト８）

酒井華子③、蜂谷心結②、佐藤衣織美②、土井尻和奏②、多田璃香③、黒澤奏乃③、佐藤空来③

個人　準決勝戦進出　土井尻和奏②

●第56回東北高等学校弓道選手権大会

▼男子

団体　ベスト8タイ（予選40射25中）

麓空真②、大坊遙空③、赤坂柊馬③、三浦義孝③、川口夏輝③、秋田悠吉③、齋藤聖②

個人　予選敗退（８射６中）

三浦義孝③

ローイング部

●第78回岩手県高等学校総合体育大会 ローイング競技（西和賀町・錦秋湖）

▼男子

舵手付クォドルプル　第３位

八屋陽菜①、佐々木祥②、谷坂龍音②、吉田和生②、岩崎顕真③

東北選手権大会出場権獲得

▼女子

ダブルスカル　第３位

木村稀絢③、細屋星奈③

東北選手権大会出場権獲得

シングルスカル　第３位

佐々木紬希②

東北選手権大会出場権獲得

●第52回東北高等学校ローイング選手権大会

▼男子

舵手付クォドルプル　予選３着

八屋陽菜①、佐々木祥②、谷坂龍音②、吉田和生②、岩崎顕真③

▼女子

ダブルスカル　予選３着

村稀絢③、細屋星奈③

シングルスカル　予選３着

佐々木紬希②

テニス部

●岩手県ジュニアテニス選手権大会

▼男子

シングルス

U16　長井煌汰郎②　３位

東北ジュニア選手権大会出場権獲得

U18　柵山実輝③　７位

ダブルス

U16　長井煌汰郎②・他校生とのペア　３位

東北ジュニア選手権大会出場権獲得

▼女子

シングルス

U16　髙橋菜々美　７位

●第78回岩手県高等学校総合体育大会 テニス競技

▼男子

団体

１Ｒ　盛岡三　３－０　盛岡北

２Ｒ　盛岡三　１－２　盛岡四

ＦＣ１　盛岡三　２－０　北桜

ＦＣ２　盛岡三　０－２　盛岡一

シングルス

柵山実輝③　ベスト16

長井煌汰郎②　ベスト16

ダブルス

柵山実輝③・長井煌汰郎②ペア　ベスト８

▼女子

団体

１Ｒ　盛岡三　３－０　南昌みらい

２Ｒ　盛岡三　０－３　盛岡白百合

ＦＣ１　盛岡三　１－３　盛岡中央

空手道部

●第56回岩手県空手道選手権大会

▼女子

団体組手　第３位

村山穂乃佳③　内田珠琴③

梅津唯香③　赤坂陽香③　佐藤瑠果①

個人形　第３位　佐藤瑠果①

●第78回岩手県高等学校総合体育大会 空手道競技

▼女子

団体組手　第３位

村山穂乃佳③　内田珠琴③

梅津唯香③　赤坂陽香③　佐藤瑠果①

個人形　第３位　佐藤瑠果①

東北選手権大会出場権獲得

硬式野球部

●第73回春季東北地区高等学校野球 岩手県大会盛岡地区予選

１回戦

盛岡第三　４－０　盛岡白百合

代表決定戦

盛岡第三　０－９盛大附属（８ｃ）

敗者復活２回戦

盛岡第三　９－１　盛岡農業（７ｃ）

敗者復活代表決定戦①

盛岡第三　０－７　盛岡商業（８ｃ）

敗者復活代表決定戦②

盛岡第三　５－２　盛岡工業

→県大会出場

●第73回春季東北地区高等学校野球 岩手県大会

１回戦

盛岡第三　７－０　盛岡商業（７ｃ）

２回戦

盛岡第三　２－４　福岡→ベスト16

【文化部】

書道部

●第24回岩手県高等学校書道作品コンクール

書道協会長賞（第三席）

三浦愛叶③

奨励賞　澁田咲③、羽沢遥菜③

●第21回岩手日報高校書展

日報大賞（第一席）

三浦愛叶③

優秀賞　澁田咲③、南野心夏③

秀逸賞　羽沢遥菜③、赤川優月③、柳谷祐希①

入　選　石沢香蓮③、佐々木茉奈③、根城心菜③、片山和奏③、阿部皐月③、鈴木絢菜③、中村紗瑛③、小平朱莉②、伊藤和②、樋口りか②

佳　作　木村詩乃③、山口瑞姫②、三浦あいる②

囲碁将棋部

第48回岩手県高等学校将棋大会

▼男子　団体　B級優勝

大将：出口 海斗①　副将：田口 悠就③

三将：小田 航志②

視聴覚委員会

●第49回岩手県高等学校総合文化祭放送部門大会兼第73回NHK杯全国高校放送コンテスト岩手県大会

アナウンス部門

入賞　稲垣百花②

ラジオドキュメント部門

優良賞　『オリジナルを求めて』

本選推薦

テレビドキュメント部門

優秀賞『スクバと闘うJKたち』

本選推薦

創作ラジオドラマ部門

最優秀賞『ふるさと』　本選推薦

その他

《なぎなた》

●第78回岩手県高等学校総合体育大会 なぎなた競技

▼女子

個人試合　第１位　南舘ひより②

2026近畿IH・東北選手権出場権獲得

演技競技　第１位

吉田莉乃①、田中楓美乃①ペア

2026近畿IH・東北選手権出場権獲得

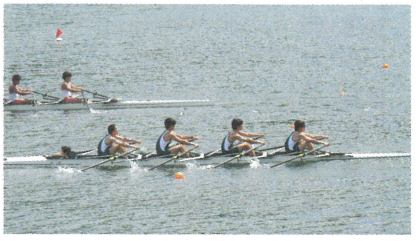
●第28回東北高等学校なぎなた選手権大会

▼女子

個人試合　ベスト８　南舘ひより②

演技競技　予選敗退

吉田莉乃①、田中楓美乃①ペア



盛岡第二高等学校同窓会「母校支援」寄付金芳名簿

令和7年8月1日～
令和8年7月31日現在

旧職員

工藤　薫（旧職員）
三上　清
松尾光則
上田勝人
柳林春治
守屋光雅
三田哲雄
星　幸一
米内ひさ子
宮田則義
佐々木　修
石村廣志
山田市雄
タムライチロウ

会員

佐々木(川越)エミ子（1回生）
湊(立花)　房子（1回生）
杉田信哉（1回生）
瀧野常實（1回生）
金子栄也（1回生）
山崎恒道（1回生）
川村幸彦（1回生）
滝村民明（1回生）
成島忠一郎（1回生）
戸澤慎一（1回生）
三浦和喜（1回生）
釜沢政紀（1回生）
佐々木(沢田)洋子（1回生）
佐々木光弘（1回生）
名久井良明（1回生）
平舘和子（1回生）
白根晃三（1回生）
谷沢次郎（2回生）
菊池　悟（2回生）
泉山良男（2回生）
飯沼豊成（2回生）
岩崎　貢（2回生）
谷上敏夫（2回生）
水原洋一（2回生）
谷藤一雄（2回生）
上野靖仁（2回生）
吉田仁志（2回生）
餘目正敏（2回生）
白石　茂（2回生）
岩崎実努理（3回生）
阿部信一（3回生）
稲田　収（3回生）
藤原　透（3回生）
紺野啓三（3回生）
祝　修二（3回生）
藤田能文（3回生）
伊藤　實（3回生）
工藤紀夫（3回生）
工藤研一（3回生）
亀澤栄三郎（3回生）
赤石　健（3回生）
久慈裕子（3回生）
菅原幸治（4回生）
小原範男（4回生）
遠藤　順（4回生）
小野洋一（4回生）
菊池則道（4回生）
飯島(大川)静子（4回生）
亀井俊直（4回生）
福島(平野)元信（4回生）
佐々木和彦（5回生）
外村道夫（5回生）
大川健老（5回生）
吉田利次（5回生）
金田一公昭（5回生）
小菅道仁（5回生）
鬼柳健一（5回生）
熊谷　学（5回生）
荒川宗久（5回生）
冨山道彦（5回生）
北條啓吉（5回生）
遠藤敏男（6回生）
柏　陽一郎（6回生）
立花政則（6回生）
藤原徳雄（6回生）
下田清貴（6回生）
熊谷雅英（6回生）
佐々木(松寿)道乃（6回生）
赤坂隆之（6回生）
谷藤(澤口)礼子（6回生）
八重畑　修（6回生）
佐藤　弘（6回生）
山本俊夫（6回生）
上田(長沢)多佳子（6回生）
飯岡経也（6回生）
佐藤(小笠原)啓子（7回生）
吉田良平（7回生）
吉田(渋谷)あき子（7回生）
小綿　明（7回生）
田中光弘（7回生）
佐々木雅博（7回生）
永山智照（7回生）
福井善之（7回生）
中田俊彦（7回生）
細田幸一（7回生）
佐々木(竹田)正徳（7回生）
三浦義孝（7回生）
佐藤(及川)晃三（8回生）
堀江　博（8回生）
赤沢篤司（8回生）
石川典朗（8回生）
吉田敬一（8回生）
立花弘之（8回生）
獅子内建二（8回生）
長澤(小原)英子（8回生）
海野　尚（8回生）
齋藤俊二（9回生）
角舘俊一（9回生）
菊地洋子（9回生）
千葉　満（9回生）
高橋　宰（9回生）
三河春彦（9回生）
片岡敏弘（9回生）
澤野義章（9回生）
仲田信行（9回生）
田中忠一（10回生）
晴山　一（10回生）
吉島英信（10回生）
中村(吉田)公子（10回生）
小野芳史（10回生）
石杜有慎（10回生）
川野好宏（10回生）
吉田園子（10回生）
中田　修（10回生）
小豆島正博（10回生）
赤川義和（11回生）
菅野(作山)祥子（11回生）
平舘　仁（11回生）
鈴木信愛（11回生）
山形守平（11回生）
大澤知也（11回生）
瀧沢(伊藤)洋子（12回生）
姉帯憲靖（12回生）
鈴木信彦（12回生）
髙橋一郎（12回生）
佐藤一彦（12回生）
石川公一（12回生）
竹内靖子（12回生）
長鈴幸憲（13回生）
晴山(出羽)真理子（13回生）
木村(平山)智子（13回生）
佐々木　猛（13回生）
伊藤栄彦（13回生）
山崎博也（13回生）
岩渕(高橋)和子（13回生）
武田哲夫（13回生）
佐藤亥壱（13回生）
栗田(籠沢)真由美（13回生）
関口修司（13回生）
右京昌久（13回生）
藤村文二（13回生）
佐藤(高屋敷)和江（13回生）
畠山雅之（13回生）
石川　敬（13回生）
船場安夫（14回生）
後藤良平（14回生）
佐藤幸代（14回生）
佐々木俊夫（14回生）
鈴木(小野寺)篤雄（14回生）
大川幸一（14回生）
佐々木　淳（14回生）
山脇(釜津田)浩子（15回生）
佐々木　靖（15回生）
横沢眞樹子（15回生）
細谷正憲（15回生）
蛯名(佐藤)　恵（15回生）
野崎　学（15回生）
高橋(及川)厚子（15回生）
琴畑尚子（15回生）
杣　亨（15回生）
昆　功（15回生）
高橋和人（15回生）
森　達也（16回生）
遠藤睦昭（16回生）
吉澤(渡辺)由美子（17回生）
佐々木素子（17回生）
髙橋(千葉)直子（17回生）
髙村伸男（17回生）
髙橋(鹿野)由紀子（17回生）
川嶋(山本)加奈子（17回生）
菊池　奨（17回生）
石川英勝（17回生）
鈴木　裕（17回生）
石川英勝（17回生）
鈴木　裕（17回生）
中野徹也（18回生）
伊藤辰夫（18回生）
内澤　明（18回生）
北　純子（18回生）
三島木達也（18回生）
吉田雅博（19回生）
吉澤靖博（19回生）
福士(小針)真理恵（19回生）
嶋　隆（19回生）
新妻(二瓶)史津子（19回生）
新妻(二瓶)史津子（19回生）
近藤裕康（20回生）
吉田みち子（20回生）
丸山正志（21回生）
佐々木勝徳（21回生）
久保(長沢)香世（21回生）
遠藤　純（22回生）
十六澤(民部田)あき子（22回生）
川村正章（23回生）
鷹觜秀志（23回生）
佐藤(藤原)　誠（23回生）
嶋　敦（23回生）
古澤一峰（24回生）
近藤(米澤)啓子（24回生）
佐藤聡久（24回生）
近藤奈緒（24回生）
橋野勝己（24回生）
袴田恭司（24回生）
佐々木貴弘（25回生）
佐々木　哲（25回生）
子吉尚充（26回生）
大村(山口)聡子（26回生）
塚田美和子（27回生）
伊藤　（27回生）
大岩有美（28回生）
栗澤佳幸（28回生）
及川拓郎（28回生）
加藤隆芳（29回生）
片島美津子（30回生）
山本(吉田)一徳（30回生）
藤井雅史（31回生）
佐々木　幸（32回生）
安保尚喜（33回生）
諸岡(斎藤)歩希（34回生）
對馬美雪（35回生）
安保敏明（36回生）
佐藤祐希（39回生）
關　久大（39回生）
松山美代（39回生）
鈴木悠地（40回生）
桂木美佳（41回生）
藤原広大（41回生）
鹿志村晃太（42回生）
大沼史明（42回生）
藤原誠樹（42回生）
佐々木　叡（44回生）
小杉桜子（44回生）
鹿志村有紗（45回生）
畑田芽美（46回生）
渡邊　藍（46回生）
堀井(佐々木)暢（47回生）
千葉勇生（47回生）
桂木美幸（48回生）
藤原百恵（49回生）
佐々木　駿（52回生）
志和孝洋（53回生）
上澤田宇宙（53回生）
川村　彰（54回生）
志和祐希（55回生）
志和孝祐（57回生）
伊東里紗（58回生）
遠藤隼人（58回生）
曽我優大（58回生）
嶋　栞（59回生）
東　航汰（60回生）
湯下賢登（60回生）

母校支援 寄付のお礼とお願い（コンビニ、スマホでも寄付ができるようになりました）

平成25年から始まった母校支援寄付金は在校生の部活動や海外研修などの補助、そして10年ごとの周年行事のための積立金として利用させていただいております。今年度も多くの同窓生の皆様、ご家族様にもご協力いただき感謝申し上げます。寄付金はこれまで長く郵便局だけでのご入金をお願いしておりましたが、もっと気軽にご寄付いただけるようにと昨年からコンビニエンスストアも利用できるようにいたしました。ただ、コンビニエンスストアで入金する場合は振込用紙に印字された１口分2000円のみの受付となりますのでご注意下さい。これまでのように5,000円、10,000円をご寄付されたい場合、お手数ですがこの振込用紙を郵便局にお持ちいただき金額を書き直してご入金くださいますようお願いいたします。入金額はここ数年連続で前年を下回っており、在校生への支援が難しくなってきている状況です。何卒ご理解の上引き続きのご協力をよろしくお願いいたします。

（ご寄付いただいた方のお名前は会報にて発表させていただいています）

同窓会長　**藤原　誠司**

同窓会役員名簿

会　　長	藤原　誠司（13回生）						
副 会 長	滝村　民明（１回生）	山内　隆文（５回生）	後藤　良平（14回生）				
理　　事	泉山　良男（２回生）	横澤　　忠（２回生）	佐々木　淳（14回生）	及川　正樹（15回生）	伊勢　志穂（16回生）		
	佐藤　　直（16回生）	高橋　貞勝（20回生）	小笠原啓助（21回生）	高橋　政喜（25回生）	佐々木恵子（28回生）		
	邊　　明進（31回生）	坂東　　学（33回生）	深田　真弓（40回生）	豊川美穂子（40回生）			
監　　事	阿部　由章（５回生）	小綿　　明（７回生）					
顧　　問	菅野　幸貴（校長）						
事務局長	小原　謙一（25回生）						
事務局次長	中村　　洋（20回生）						
事 務 局 員	阿部　　淳（11回生）	柴田　良範（14回生）	中舘　　豊（15回生）	佐藤　義之（32回生）	吉田　哲郎（34回生）		
	吉田　　哲（35回生）	及川　敏生（41回生）	野嵜　友則（41回生）	笠水上ゆりえ（45回生）	佐藤　柚子（48回生）		
【関東支部】							
支 部 長	後藤　良平（14回生）						
副支部長	林　貴志郎（４回生）	宮川　大輝（56回生）					
代表幹事	山崎　慈三（５回生）						
事務局長	山脇　浩子（15回生）						
事務局次長	安保　　亮（14回生）						

寄付金振り込み方法の変更のお知らせ

今年度より、寄付金振込用紙を「郵便局専用」から**「郵便局・コンビニ併用」に**変更させていただきました。お近くのコンビニエンスストア、スマホ等からも寄付を行うことができます。変更に伴い金額が固定された状態で印字されております。2,000円以上の寄付を希望される方は大変お手数をおかけしますが、従来通り郵便局又はゆうちょ銀行で額の変更を行ったうえでご寄付をお願いいたします。

昨今の事情を鑑み、同窓会報の在り方も見直していく必要が生じてきました。会報またはＨＰを通じてお知らせいたします。

事務局より

日頃より、会員の皆様には同窓会活動に対しご理解とご支援を頂き大変ありがとうございます。

今年度も株式会社サラト様の協力を得て会報を発送しております。住所変更がございましたら「住所変更のご連絡方法」をご参照のうえ、ご一報をお願いします。

住所変更のご連絡方法

住所等の変更があった場合は盛岡三高ホームページのフォームによりご連絡いただくようお願いいたします。

手順1　ホームページトップから**「PTA・同窓会」**をクリック
手順2　鵬同窓会の**「住所変更の連絡について」**をクリック
手順3　鵬同窓会**代表メールアドレス**をクリック
手順4　**内容を打ち込み「送信」**をクリック

ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

「盛岡三高 鵬同窓会 関東支部」を紹介します。

鵬同窓会関東支部は、関東在住の有志によって運営されています。1回生（79歳）から、61回生（18歳）まで、世代を越えての気軽な集まりです。

2026年2月7日（土）には、「関東支部総会・懇親会」を開催し63名の参加がありました。母校の菅野校長先生や熊谷副校長先生、同窓会長の藤原誠司さん（13回生）にも駆けつけていただき、盛岡三高の様子や盛岡のお話していただきました。懇親会では同窓生が参加している「大江戸さんさ」のアトラクションで会場みんなで踊りのレクチャーを受け、大変盛り上がりました。

また「関東支部新人歓迎会」を6月21日（日）に開催し、飲茶ランチをいただきました。社会人になったばかりの56回生や、初めて同窓会のイベントに参加できて喜びが隠せない41回生など、61回生2名を含む21名と楽しく交流ができました。


2026.6.21 新宿アイランドタワーから新宿公園へ


2026.2.7　東京グリーンパレスホテル　関東支部総会・懇親会

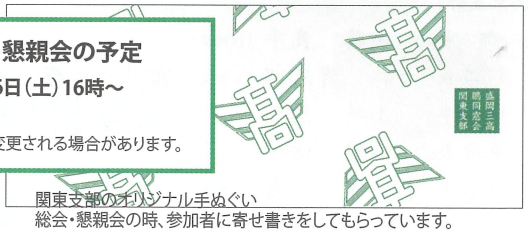

2026.2.7 音楽部会


2025.11.29「桜ライン311」
桜植樹ボランティア

関東支部では、定例幹事会、ボランティア、ゴルフや音楽などのさまざまな部会の活動も行っております。全国の同窓生の活動を、FacebookやXでもお知らせしていますので、登録してぜひご参加ください。

お問い合わせ：関東支部事務局
ootorikantou@gmail.com
電話 090-3237-8108山脇（15回生）
X：鵬同窓会関東支部公式 @ootori_kantou
Facebook：盛岡三高鵬同窓会（非公開グループ）
https://www.facebook.com/groups/moriokasanko.otori/

関東支部総会・懇親会の予定
日時：2027年2月6日（土）16時～
場所：未定
※開催は都合により変更される場合があります。


関東支部のオリジナル手ぬぐい
総会・懇親会の時、参加者に寄せ書きをしてもらっています。

鵬ゴルフコンペ開催しました



今年も８月11日、関東、東海、中部に住む県外OB達が、県内のOBに、わざわざ会いにこぞってやってきた。みんな、年に一度のこの日が待ちきれないで過ごしているという（笑）。参加されている県外OBに尋ねると、毎年８月10日に、東京から新幹線でやってきて８月11日に、皆と会ったらその晩に東京へ帰るそうだ。とある県内OBは、８月10日に盛岡の実家に泊まって、８月11日この行事が終わって、皆で飲みに行くのを楽しみに生きているという。こんな夏の風物詩が、密かに2013年から続いているという。



これはまるで、七夕の彦星と織姫のロマンスのようだ。初めは男女７人の有志で始まったそうだが、参加者は年々増えて、今年は、ほぼ40名、10組で開催した。

これが、毎年山の日の行事となった、鵬ゴルフコンペである。

２回生の大先輩から、直近の卒業生まで、参加できる。若手OBも女性OBも、よが初めてのOBも、三高に縁（ゆかり）のある方は家族みたいな関係だから、ルールなんか、わからなくてもOK、世の中の情報も得られる。こんな安らぎの場はなかなかない。ハマると来年も、参加してみたくなる。次回は2027年８月11日（水・祝）盛岡ハイランドカントリークラブ。

文：髙橋信（17回生）